「課題発見・解決学習」の取組み

子供たちの主体的な学びをうながします！

広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき、「課題発見・解決学習」に取り組んでいます。

地域の元気に貢献したいとの思いから、中学生が模擬会社を立ち上げ、腐葉土の生産・販売活動を続けてきました。製造した腐葉土を販売しましたが、売れ残りが出たことから、改善策について話し合いました。

6 振り返り・新たな課題への挑戦

〈尾道市立美木中学校〉

模擬会社の活動内容を改善しよう

授業で学習した"Uターン""Iターン"で働いている人にインタビューしました

島を大切にしたいという思いが強くなったね

5 解決策を実行する

〈県立大崎海星高等学校〉

定住・移住支援のパンフレット制作に参加

大崎上島の人口減少を食い止めたいとの思いから、島の定住・移住支援プロジェクトに高校生が参加。U・Iターンで働いている人へのインタビューや、自然や歴史、伝統文化など、島の魅力を発信する仕事図鑑パンフレット「島の仕事図鑑」をつくりました。

4 解決策を表現する

〈坂町立坂中学校3年生〉

防災訓練 避難所で必要なことを考え地域の小学1年生に「伝える」

総合的な学習の時間の防災学習で、災害想定のもと、小学1年生の避難者を避難所に迎えて防災訓練を実施。**災害時も安心で人にやさしい地域にしたい**との思いから、「安心」のために自分たちができることを考え、救急法や遊びなどを工夫して行いました。

小学1年生と一緒の防災訓練を実施して多くの感想をもらい、「守られる」から「守る」気持ちや助け合いの良さを実感しました。

川に入っての生き物調べや指標生物をさがして水質調査をしました

総合的な学習の時間の授業で、**吉川の「すてき」を創りたい**との思いから、どうしたら吉川の「すてき」を創って地域に貢献できるかを考え、ホタルを増やして吉川の「すてき」を創ろうということになりました。どうしたらホタルを増やすことができるのか、みんなで考えました。

1 課題の発見

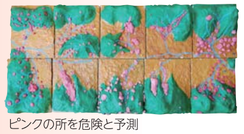
〈東広島市立吉川小学校3・4年生〉

地域の自然を守るために何ができるかな

2 調べてまとめる

〈熊野町立熊野第一小学校5年生〉

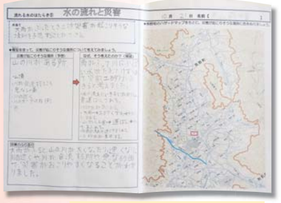
どのようなところが災害危険場所か調べよう



ピンクの所を危険と予測

大雨災害が起こりそうな場所を、地形を考えながら予測しました

自分たちの安全を守りたいとの思いから、理科の「大雨災害が起こりやすい場所をとらえる」課題について、地域の石風呂川に流れる水と地面の様子を調べました。さらに、大雨の時に災害が起こりそうな場所を立体模型を使って、ハザードマップと見比べながら、どのような場所が土砂災害危険区域か、考えをまとめました。



自分たちの予測と、町の総合ハザードマップを見くらべて調べました

3 解決策を生み出す

〈県内高校1年生〉

学んだ知識や技能を実生活に役立てる

県内各地の高校から**高校での学びを深めたい**との思いをもって新入生約80名が集まった1年次早期セミナーでは、これまでに学習した知識を活用して授業を実施。サッカーでシュートを決めるために最適な地点はどこかを考える数学の課題などに取り組み、グループで課題の解決策を考えて発表し合いました。

高校生 OECD※広島創生イノベーションスクール

高校生の力で地域課題の解決を目指して取り組む3か年のプロジェクトが、この夏スタートします。東北地方で行われた「OECD東北スクール」の後継事業であり、教育委員会はもちろん、企業やNPOの職員、大学教授、さらにはOECDも高校生のチャレンジをサポート。「海外の高校生と一緒に世界・広島を元気にしたい」といった熱い思いを抱いた約50名が集まり、ワークショップなどの活動を行う予定です。

※OECD（経済協力開発機構）とは、経済・社会分野の成長・発展に貢献するため、多岐にわたる活動を行っている国際機関です。

●プロジェクトを通して課題発見・解決学習①～⑥に取り組みます

- 学校・地域を越え、高校生の絆を築きます / 第一線で活躍している方々から指導を受けます → **全体スクール**（3か月に1回程度開催、2泊3日程度の合宿）※大学教授、企業関係者、NPO代表等による講義、生徒同士のグループワーク、Webを活用した海外の生徒とのディスカッションなどを実施
- 仲間と一緒に、地域課題の解決を目指します → **エリアスクール**（1か月に1回程度開催）※地域でのフィールドワーク、インタビューなどを実施（活動内容は、担当教員やエリアメンターとも相談し、生徒自身が決定）
- ハワイを訪れ、広島の魅力と課題をプレゼンします → **グローバルスクール@ハワイ**（平成28年8月 1週間程度）
- 海外の生徒を広島に招き協働してイベント等を企画・開催します → **グローバルスクール@広島**（平成29年8月・1週間程度）

パイロット校指定事業 「中核教員研修」で先生もスキルアップ!

「学びの変革」を推進する中核教員を養成するための研修を実施しています。全10回の日程で「課題発見・解決学習」に関する授業づくりや、育成する能力の評価についてなど、多彩な講義や演習などが今後も行われます。

子供の学びを深めるために学校で実践します

参加した先生の声

●指導の工夫・改善や、年間指導計画に生かしていきます。

●校内研修で取り上げて、全職員で取り組んでみたいです。

第40回全国高等学校総合文化祭「2016ひろしま総文」 生徒による総文レポート vol.2

小倉百人一首かるた部門

高校生による文化部の全国大会が平成28年夏に広島県で開催されます。この「2016ひろしま総文」に向けた生徒たちの活動を、生徒実行委員会が取材をし、毎号レポートします。

今回は、小倉百人一首かるた部門を取材しました。

大会マスコットキャラクター もみおん

呉市立呉高校の古典研究部は、本格的に小倉百人一首かるたを行う県内でも珍しい部です。札を早く取るためには、まず歌を暗記することが重要です。試合では上の句の5文字を聞いてすぐに札を取らなければなりません。1秒以内に反応することが求められ、上級者になると0.4秒～0.6秒の間で反応して取るのだそうです。

試合に勝つためには、自陣に並べる札を自分に取りやすく、相手には取られにくいように配置する戦略が必要です。そして試合が始まる前の15分の間に並べた札の位置を記憶することも必要となります。

部員の1人は「小倉百人一首かるたは、競技としてはあまりメジャーではないですが、知れば知るほど楽しくなります。もっと多くの人に興味を持ってもらえるよう、がんばりたいです」と熱く語ってくれました。

平成28年度 中国5県でインターハイ開催! vol.2 部活動で奮闘中!

御調高等学校ソフトボール部

"ソフトボールの町"とも呼ばれる尾道市御調町にある御調高校。男子ソフトボール部の17名は、今年もインターハイ出場（6年連続）を決め、広島県を代表する高校ソフトボールの名門として町内外から注目を集めています。昨年もインターハイに出場したキャプテンは、「全国の舞台に立つとみんな緊張してしまうのですが、普段から常に緊張感を持って練習に取り組み、本番で実力を発揮できるようにしたい」と抱負を語ります。

昨年度創部したばかりの女子ソフトボール部14名も、男子の活躍に負けじと一致団結して練習に汗を流しています。キャプテンは「しっかり声を出し、チームのムードを盛り上げていくことを意識しています。来年のインターハイは地元開催なので、初出場を果たしたい」と意気込みを話してくれました。

トピックス

1,826作品の中から選ばれた統一メニュー ひろしま給食100万食プロジェクト メニュー決定!!

応募総数1,826作品の中から、今年度の「ひろしま給食」統一メニューが"まんさい! ひろしまご飯"に決定しました。広島県のおいしい味がまんさい! のご飯です。ぜひご家庭でもお試しください!

まんさい! ひろしまご飯

考案者 府中町立府中中央小学校 5年生 髙望海さん

レモンのさわやかさが味をひきたてます!

一品で広島名物をたくさん味わえます!

広島菜漬けは大根葉や小松菜に、たこはあなごやあさりに代えてもおいしいです!

●材料（分量4人分）

ご飯	茶碗4杯分
【合わせ酢】	
酢	大さじ2
砂糖	小さじ4
塩	小さじ2/3
レモン汁	小さじ2
【具材】	
ゆでだこ	80g
広島菜漬け	100g
ちりめんじゃこ	20g
梅干し	2個分
白ごま	小さじ1

●作り方

1. 合わせ酢を作り、炊き上がったご飯に混ぜる。
2. ちりめんじゃこをからいりし、たこ、広島菜漬けを好みの大きさに切る。
3. 1の酢飯に2の具を混ぜる。
4. 梅干しと白ごまを混ぜる。

●その他の「ひろしま給食」メニューも、広島県教育委員会のホームページでご覧いただけます。

保護者の皆さん大活躍! 子供たちを支えるPTA活動

呉市立両城小学校PTA

PTAの会員数は114名と小規模ですが、PTA活動に対する保護者の理解を得る努力を続けており、年度始めの総会には90%以上の会員が出席しています。地域を巻き込むための工夫や改善に絶えず取り組み、登下校時の見守りや教育講演会の開催、ふれあいのつどいなど、さまざまな活動を行っています。

平成26年度「優良PTA文部科学大臣賞」を受賞しました